

エコアクション21
2024年

 **環境経営レポート**

活動期間：2024年10月～2025年9月

未来に、今より美しい水を・・・



九十九里浜

エコアクション21
東昭化学株式会社 ・ 株式会社 カズサ

2025年12月26日

1 - 1. 東昭化学株式会社 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名 東昭化学株式会社
代表者名 代表取締役 宮島昭夫
所在地 〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町2-7

2) 環境管理責任者及び連絡先

責任者 取締役営業部長 岡田好明
連絡先 TEL 03-3863-0831 (代)

3) 事業活動内容

化学工業薬品、医薬品の販売
劇物、毒物の販売
食品添加物の販売
医薬部外品の販売
化粧品の販売
高度管理医療機器等の販売業・賃貸業

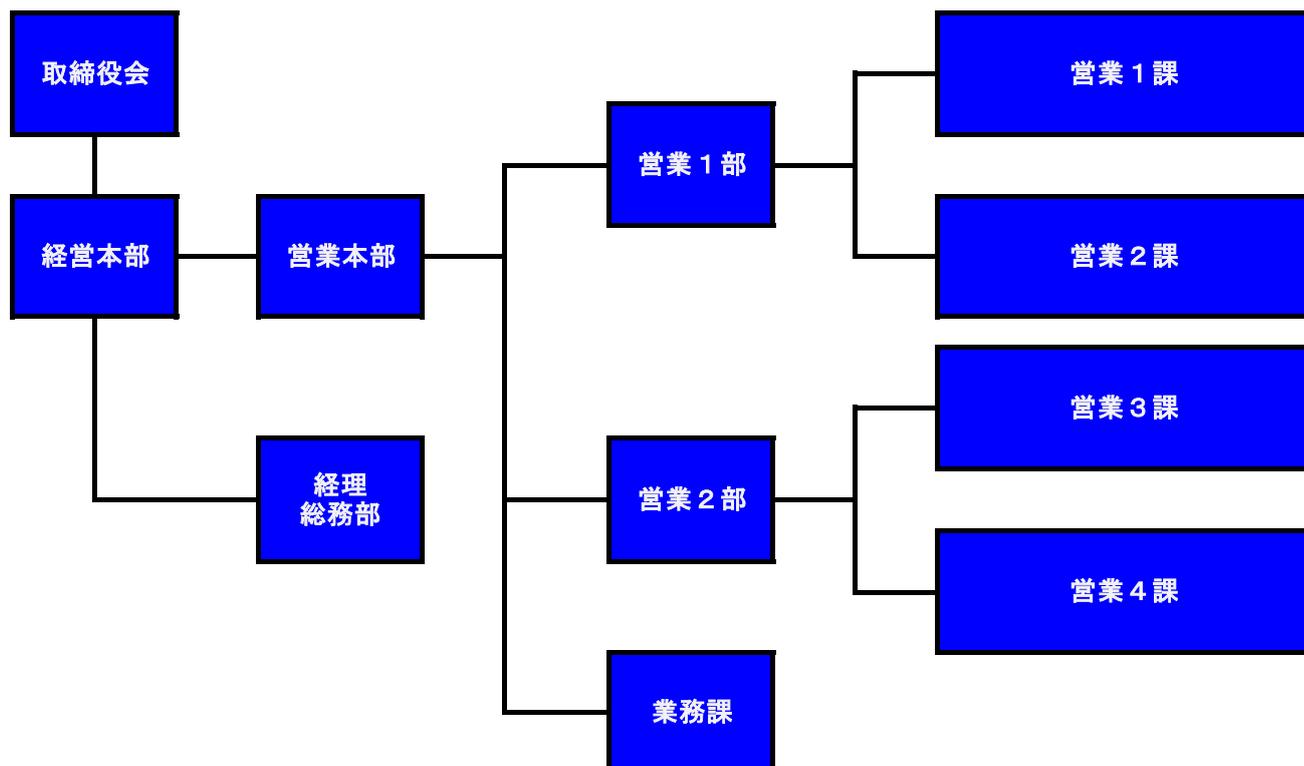
調理機器の販売業・賃貸業
水処理設備の販売業・賃貸業
物品の販売（日常生活品の販売）
賃貸業
清掃業
前各号に附帯する一切の業務

4) 事業規模

資本金 2,418万円
従業員数 32名
対象床面積 280平方メートル



5) 東昭化学株式会社 組織系統図



1-2. 株式会社カズサ 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名	株式会社	カズサ
代表者名	代表取締役	川上康夫
所在地	本社・工場	〒299-4205 千葉県長生郡白子町南日当2424-6
	東京営業所	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-7

2) 責任者及び連絡先

責任者	工場長	川上康夫（兼任）
連絡先	T E L	0475-33-6417（代）

3) 事業活動内容

化学工業薬品の製造及び販売
食品添加物の製造及び販売
医薬品の製造及び販売
劇物、毒物の製造及び販売

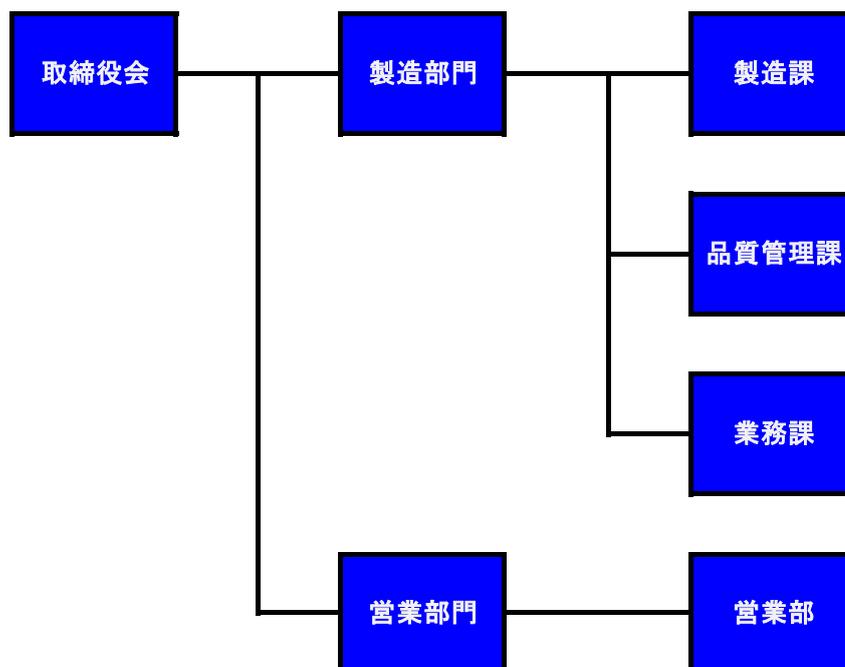
化粧品の製造及び販売
医薬部外品の製造及び販売
前各号に附帯する一切の事業

4) 事業規模

資本金	2,400万円
従業員数	11名
対象床面積	3,400平方メートル（敷地） 1,259平方メートル（工場・事務所） 438平方メートル（倉庫）

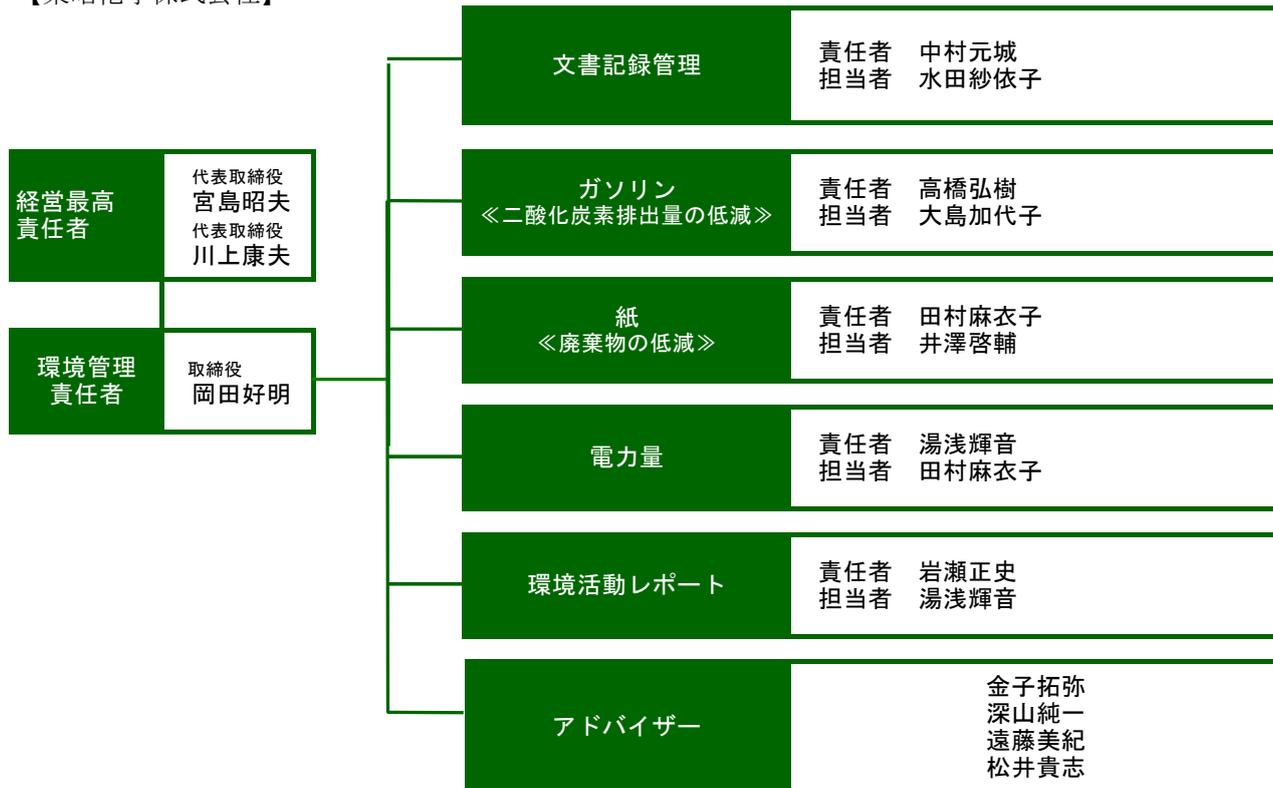


5) 株式会社 カズサ 組織系統図

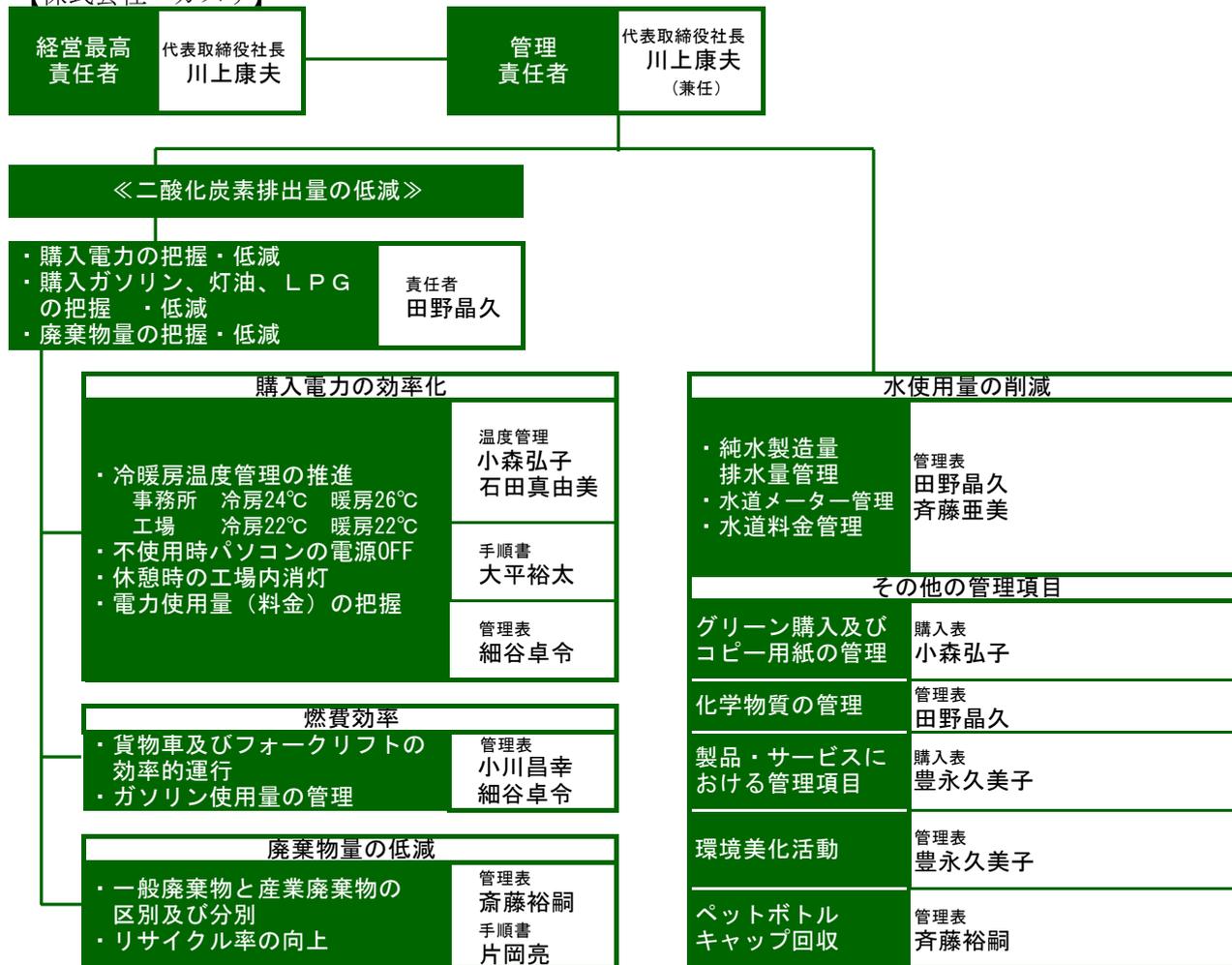


2. 実施体制

【東昭化学株式会社】



【株式会社 カズサ】



役 割	責 任 と 権 限
代表取締役	<p>環境経営方針の制定、課題とチャンス明確化、環境管理責任者の任命</p> <p>EA21システムの全体取り組み状況の評価と見直し</p> <p>環境経営目標・環境活動計画の承認、環境経営レポートの承認</p>
環境管理責任者	<p>EA21システムの構築、運用、運用状況を社長に報告</p> <p>環境経営目標・環境活動計画の立案</p> <p>環境経営レポート作成</p> <p>教育訓練計画の作成</p>
営業部長	部課員への環境教育
事務局	<p>コミュニケーション窓口、緊急事態への対応</p> <p>データの収集</p>
営業・内勤業務者	<p>毎日当番該当者は、ごみ出しの記録を所定の用紙に記入</p> <p>車両管理者は毎月末の走行距離を事務局に報告</p> <p>FAX・コピー・プリンターの使用量を記録し事務局に報告</p>
カズサ責任者	<p>カズサのシステム運用</p> <p>カズサの環境経営目標・環境活動計画の立案</p> <p>カズサの教育訓練計画の作成</p> <p>緊急事態への対応と管理責任者への連絡</p>
製造責任者	製造課の環境活動計画の実施とチェックリストの提出

3. 環境経営方針

東昭化学株式会社及び株式会社カズサは、事業活動を通じ、地球環境の保全に最善を尽くすとともに、かかわりの深い「水」を大切にすることを常に考えながら次のことを実施していきます。

1. 環境関連法規の遵守

環境関連の法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

2. 省資源、省エネルギーの推進

限りある資源を保全するために、エネルギー消費量、廃棄物量の状況を把握しエネルギー消費の効率化を図り、廃棄物量の削減に努めます。

3. 環境マネジメントシステムの確立

環境経営方針達成のために、環境経営目標及び活動計画を定め環境マネジメントシステムの構築・運用と継続的改善に努めます。

4. 環境経営方針の周知と公表

環境経営方針を従業員全員に周知徹底するとともに、実施状況を環境経営レポートにまとめて公表します。

5. 化学物質の適正管理

化学物質を適正管理し、法令を遵守します。

2020年 10月 1日 (改定)

東昭化学株式会社

代表取締役 宮島 昭夫

株式会社カズサ

代表取締役 川上 康夫

環境方針の履歴

2006年 9月15日 (制定)

2008年 9月14日 (改定)

2011年 9月15日 (改定)

2016年 3月 8日 (改定)

2018年10月 1日 (改定)

2020年10月 1日 (改定)

4. 環境経営目標とその実績

1) 環境経営目標と実績

東昭化学㈱と㈱カズサはそれぞれ環境経営目標の項目を次のように掲げ
2016年10月～2021年9月の実績値からそれぞれの目標値を定め
2026年9月までに目標を達成するため、調査と活動計画を実施しています。

- *6) 新5か年計画(2026年9月までの環境経営目標)参照
- *東昭化学は賃貸ビルに入居しているために、水使用量は把握できません。
但し、電気使用量は2023年6月より自社負担となりました。

東昭化学㈱	5か年計画 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
二酸化炭素排出総量(Kg-CO ₂)	33,643	33,765	33,890
営業車燃費効率(Km/ℓ)	15.82	15.73	14.56
廃棄物量(kg)	930.10	693.50	744.70
電気使用量(kwh)	-	26,053.00	25,726.00

※二酸化炭素排出総量の算出については、今年度よりガソリン使用量に電力使用量を加えて新たに目標を設定しています。

※廃棄物量に関して、ペーパーレス化によって当初の目標と実績とに大幅に差が生じたため、昨年実績値ベースで
目標値を新たに設定しています。

※今年度より電気使用量の低減を新たに目標に定めています。

○ グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス(ECO対応商品 41品目)

グリーン購入 : 事務用消耗品のエコ対応商品の購入推進

化学物質の管理 : SDSの整備、顧客への最新版の提供
(SDSをサーバーで管理)

製品・サービス : 営業車の効率的な走行と距離の把握
(走行距離 : 138,954Km)

㈱カズサ	5か年計画 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
購入電力の低減(kwh)	33,001	33,175	45,790
ガソリン購入量(ℓ)	2,223	2,236	2,572
廃棄物量(kg)	1,771	1,780	1,660
水使用量(m ³)	1,241	1,248	1,172

二酸化炭素総排出量 : 24,687kg-CO₂ (電気・ガソリン・灯油・LPGの合計より算出)

※二酸化炭素排出係数に係る電力の排出係数に関しましては
「登録番号A0193 九電ネクスト㈱の0.402kg CO₂/kwh」を使用しています。

○ グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス

化学物質の管理 : 化学物質の漏洩防止管理の徹底、化学物質の適正保管

製品・サービス : 製品の質の改良と向上、輸送品質の向上

製品の内容、包装資材を定期的に見直し、コストと両立した改善を推進する。
配送クレームを発生させない輸送体制を協力輸送店と共に確立していく。

○ 2024年10月から2025年9月までの新たな取組み

2022年に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻による戦争が続く中でトランプ氏がアメリカ合衆国大統領に再選して、中国をはじめとする様々な国に関税率を大幅に引き上げる政策を実施しました。我が国においても製造業などの輸出企業に大きな影響を及ぼしました。

東昭化学㈱では2024年10月より全部門の業務を新システムに移行して運用を開始しました。不要な書類の発行を取り止め、必要書式はWEB発行を提案して効率化と廃棄書類の削減を実行しています。また、各部門での業務手順を定期的に見直し、資料のデータ化で更なるペーパーレス化を推進していきます。

事務所で電気使用量について、環境経営目標の項目に追加して、前年の実績を基に各月0.1%削減を目標として節電に努めます。営業車の冬タイヤの交換を適切な時期に行い、燃費向上を推進します。

㈱カズサでは2024年9月に電力購入先を変更しました。サーキュレーターを活用でエアコン使用の効率化を実施、設定温度を24℃から26℃にして電力使用量、作業効率性を確認しています。

産業廃棄物の排出についての効率を再考し、必要に応じて裁断するなどの前処理を施して排出回数を精査していきます。

各取組みにおいての目標値の設定を見直し、生産量、季節要因などの要素を盛り込んだ内容を各月の目標値とすべく、次期計画に向けてデータ収集を行います。

自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善について管理項目として再整備をして環境への配慮と製品の品質向上の両立を目指します。

2) 主な取組み内容

○ 燃費効率の向上

東昭化学㈱

営業車の運転日報の管理を行い、日々の走行距離や使用状況を把握し効率の良い営業活動を行う。

ハイブリッド車等低燃費車の継続使用。

㈱カズサ

軽トラック、フォークリフトの走行の効率化を図る。

○ 廃棄物量の低減（ペーパーレスの推進）

発信するFAXはPC/FAXを積極的に使用する。

裏紙の積極的な利用。紙類の分別を徹底する。

受発注業務のペーパーレス化の推進。

省資源化のためにお取引先様にも協力を依頼する。

○ 水使用量の削減

㈱カズサ

水使用量を常に把握して、効率的な使用により削減に努める。

○ 電力使用量の低減（節電管理）

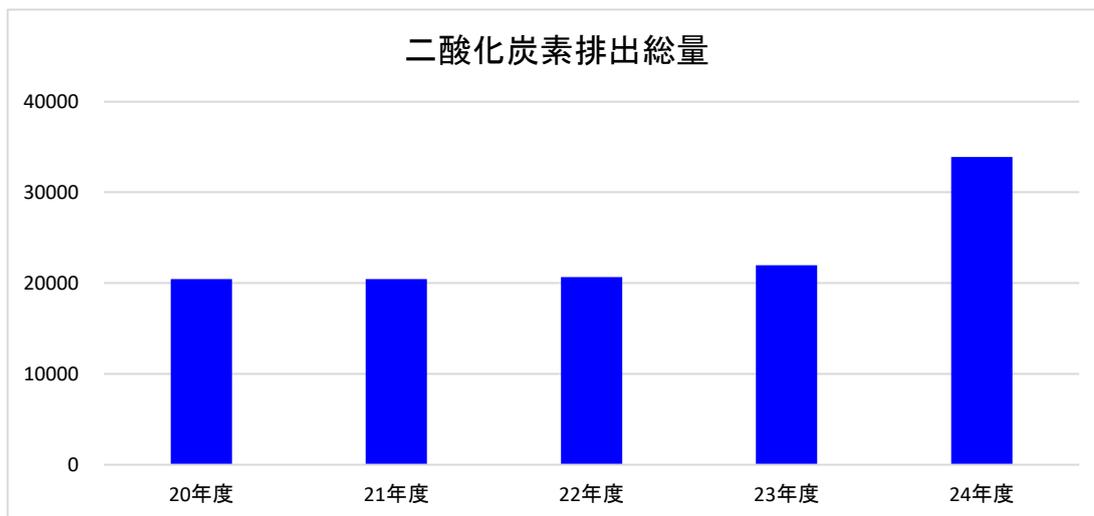
空調の適正管理

不要な照明の消灯、機器の電源管理

3) 実績の推移

【東昭化学】

■ 二酸化炭素排出総量の年間推移

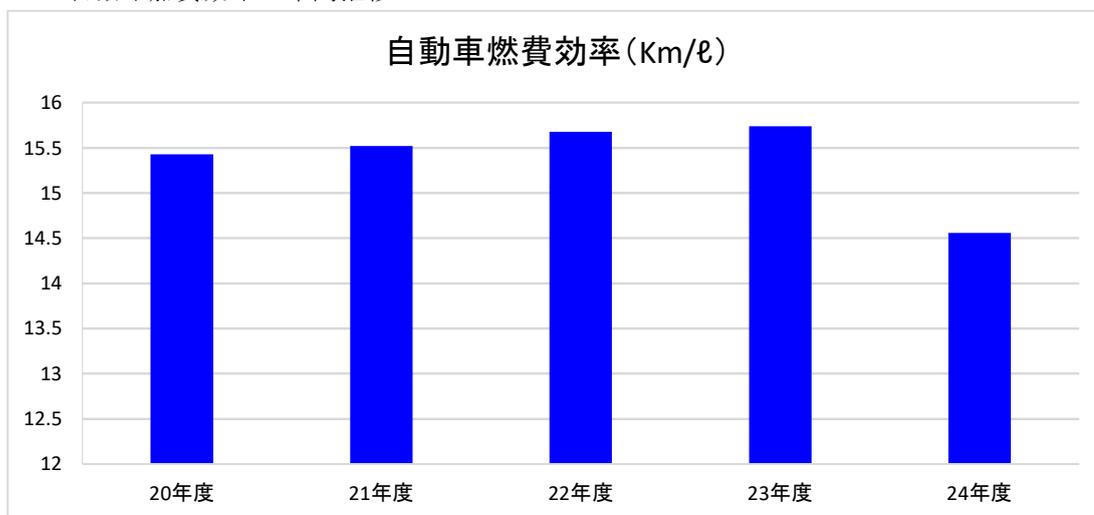


二酸化炭素排出総量(Kg-CO₂)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目標値	30,593	20,332	20,230	20,129	33,765
実績値	20,434	20,457	20,663	21,972	33,890
前年増減率	82.1%	100.1%	101.0%	106.3%	154.2%
評価	◎	△	△	△	△

※2024年度よりガソリン使用量だけでなく、電力使用量を加えて新たに目標値を設定
 ガソリン使用量CO₂排出量：22,131Kg-CO₂ 電力使用量CO₂排出量：11,757Kg-CO₂

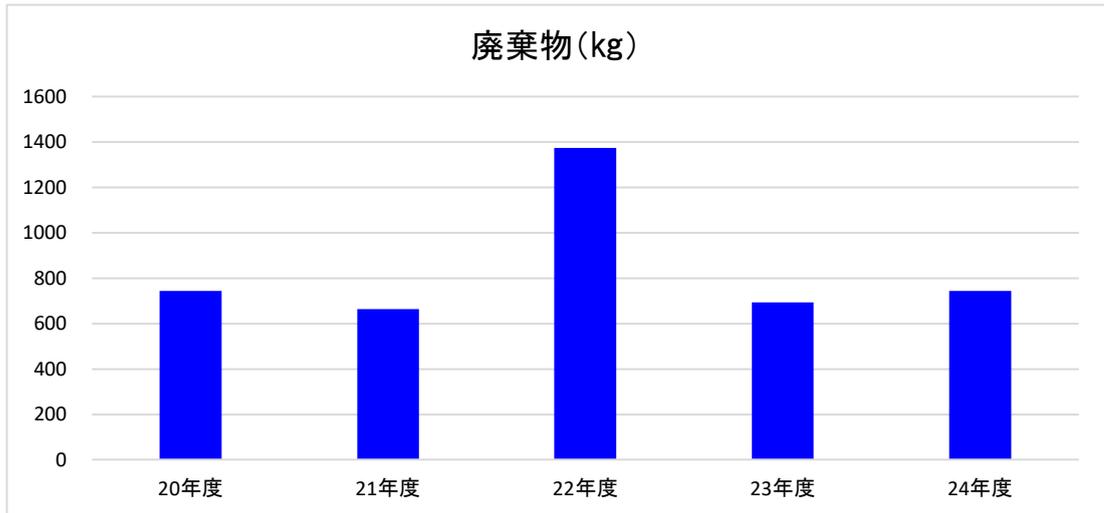
■ 自動車燃費効率の年間推移



燃費効率 (km/l)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目標値	11.40	15.51	15.58	15.66	15.73
実績値	15.43	15.52	15.68	15.74	14.56
前年増減率	103.7%	100.6%	101.0%	100.4%	92.5%
対前年評価	◎	○	○	○	×

■ 廃棄物量の年間推移

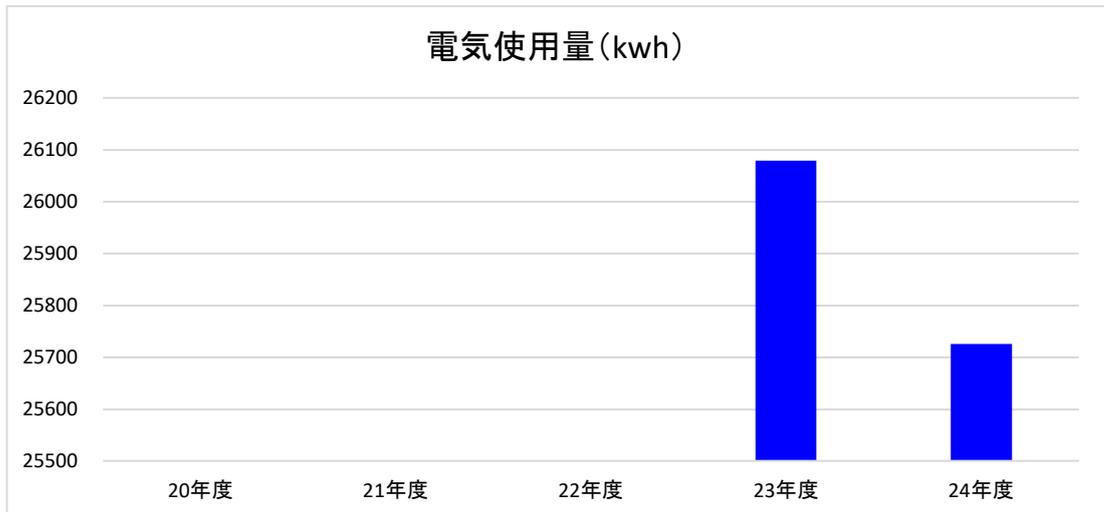


廃棄物 (kg)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目標値	1,227.5	969.3	959.5	949.7	693.5
実績値	745.0	663.0	1,375.3	693.5	744.7
前年増減率	64.6%	89.0%	207.4%	50.4%	107.4%
対前年評価	◎	◎	×	◎	△

※廃棄物量に関して、ペーパーレス化によって当初の目標と実績とに大幅に差が生じたため昨年実績値ベースで目標値を新たに設定しています。

■ 電気使用量の年間推移

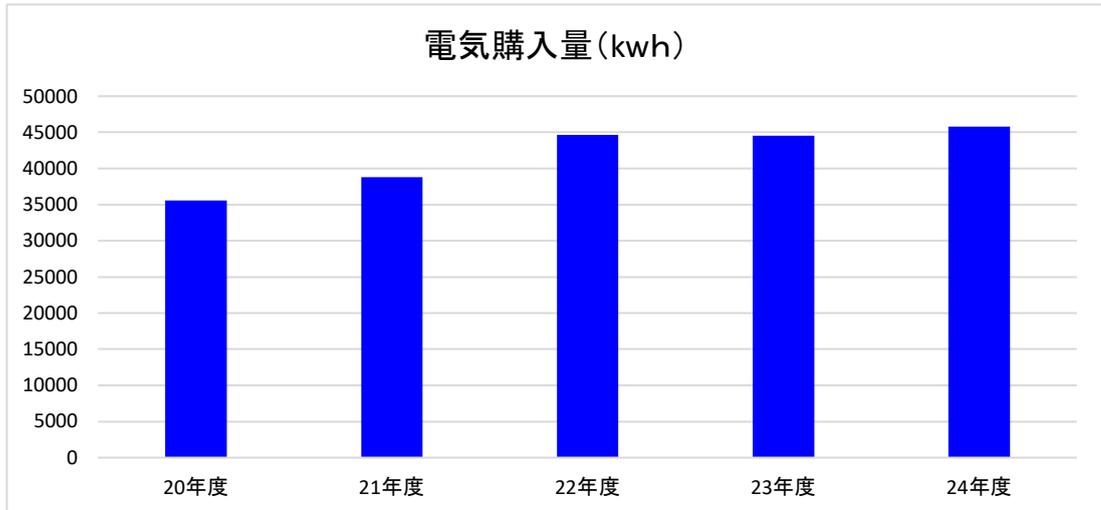


電気使用量 (kwh)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目標値	-	-	-	-	26,053
実績値	-	-	-	26,079	25,726
前年増減率	-	-	-	-	98.6%
対前年評価	-	-	-	-	◎

【カズサ】

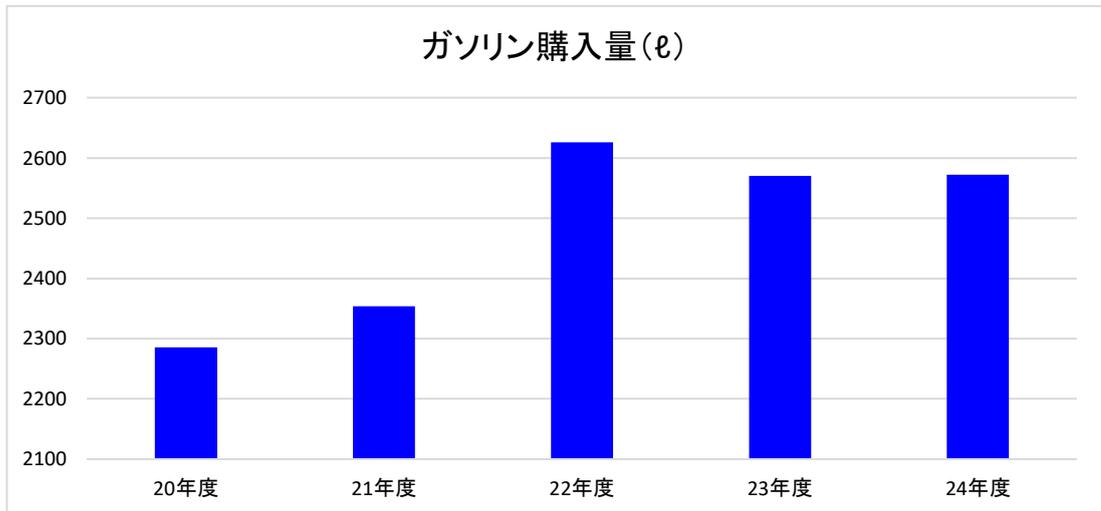
■電気購入量の年間推移



電気購入量 (kw h)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目標値	33,307	33,678	33,510	33,342	33,175
実績値	35,591	38,805	44,646	44,544	45,790
前年増減率	104.4%	109.0%	115.1%	99.8%	102.8%
対前年評価	×	×	×	△	×

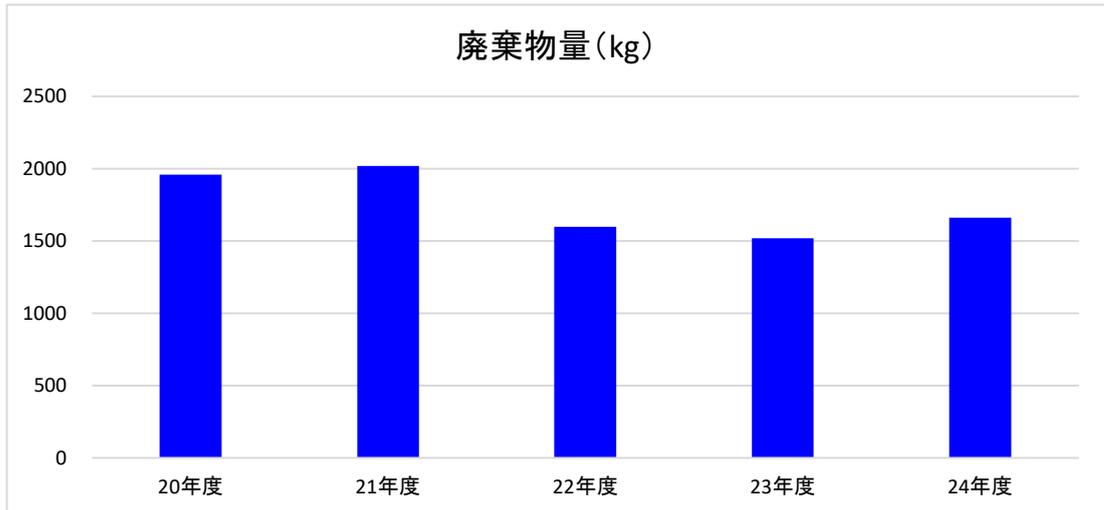
■ガソリン購入量の年間推移



ガソリン購入量 (ℓ)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目標値	2,274.0	2,269.0	2,258.0	2,247.0	2,236.0
実績値	2,285.4	2,353.7	2,626.0	2,570.4	2,572.1
前年増減率	105.5%	103.0%	111.6%	97.9%	100.1%
対前年評価	×	×	×	○	△

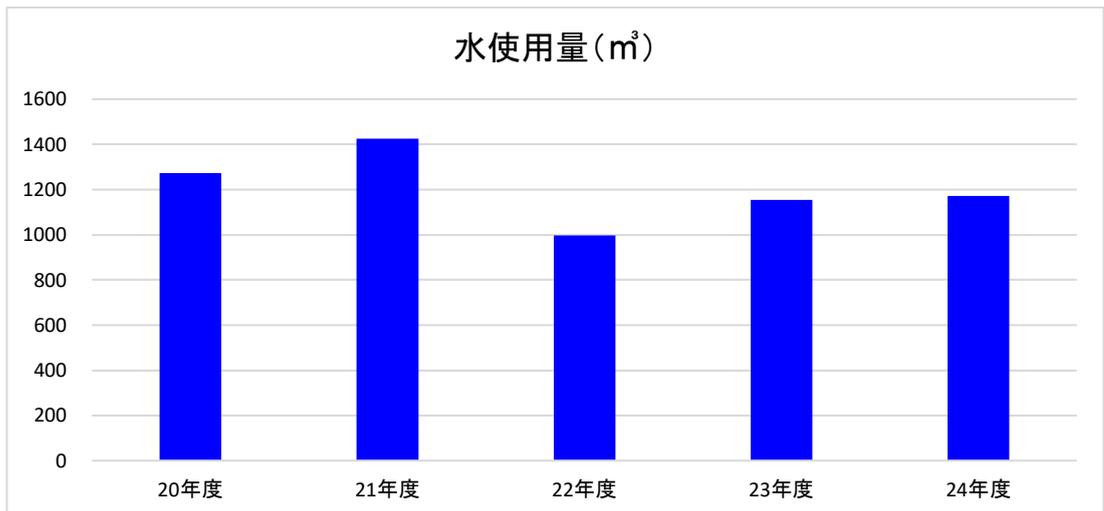
■ 廃棄物量の年間推移



廃棄物量 (kg)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目標値	1,989	1,807	1,798	1,789	1,780
実績値	1,960	2,020	1,600	1,520	1,660
前年増減率	122.5%	103.1%	79.2%	95.0%	109.2%
対前年評価	×	△	◎	◎	△

■ 水使用量の年間推移



水使用量 (m³)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目標値	1,514.0	1,266.0	1,260.0	1,254.0	1,248.0
実績値	1,272.3	1,426.2	996.95	1,155.4	1,172.4
前年増減率	80.3%	112.1%	69.9%	115.9%	101.5%
対前年評価	○	×	◎	△	○

4) 環境活動の取組結果とその評価

【東昭化学株式会社】

①二酸化炭素排出量の低減

* 電力

今年度より電気使用量の低減を管理項目に追加した。目標値を各月ごとに設定して節電に取り組んだ。それにより二酸化炭素排出量についても電力使用量を付加して目標値を再設定した。

* ガソリン

営業車に使用するガソリンの購入量はほぼ横ばい状態で、価格も高値の状況が続き購入金額は若干増となった。カーシェアリングの利用で効率的な運用が進んだが燃費効率は目標値を下回った。貨物車の積載物管理とアイドリング時間の短縮、業務内容による車両の選択を推進する。

②廃棄物排出量の低減

業務全体のペーパーレス化が進み、当初の計画との乖離があるため目標値を修正した。溶解処理が低減しているが、9月に事務所の床材張替があり各自所有の紙類が多く排出された。請求書類のWEB発行への移行を推進し、紙書式の発行を抑制できた。

③グリーン購入・リサイクルの推進

社内備品の購入に関しては、積極的にグリーン購入を行っている。リサイクルに関してはペットボトルキャップの回収と寄付を行っている。

④環境関連法規の遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

⑤環境教育の推進

営業車を効率よく、安全に運行させるために出発前・後の点検や運行記録を取って燃費に対する意識を高めるよう教育している。また、社内業務においては紙資源への意識や電気の適正管理を積極的に行っている。

【株式会社カズサ】

①購入電力の効率化

電力使用量は昨対比2.8%増加の45,790kwhであった。梅雨明けが早く6月からのエアコン使用期間が長くなったことが原因と思われる。電力会社を変更して1年を経過して購入金額を比較したが、kwh単価で若干の増額であった。事務所2階の会議室使用後の照明の消し忘れが度々あり退出時の確認チェックリストに追加して対策とする。

②燃費効率の向上（ガソリン使用量）

ガソリン使用量は昨年実績で50ℓの削減があり、ほぼ同量の結果となった。繁忙期に生産量の増加があったが、フォークリフトの効率的な運用を継続実施したことで、使用量を抑制することができた。

③廃棄物排出量の低減

梱包材関連の資源化回収を推進しているが、昨年より47Kgの増加となり、分別の意識が浸透し成果が出ていると思われる。また、段ボールについては1,209Kgを古紙リサイクルとして分別排出した。

④水使用量の削減

上水使用量は1172.41m³で昨年より17.05m³増加。目標値は1248m³だったので目標は達成した。外気温に影響された上水道の水温が純水精製率に大きく影響を与える事が分かった。データを基に効率的な純水装置の運用を検討する。

⑤リサイクルの推進

分別を徹底して、廃ラップ、PPバンドの資源化回収を継続し、効果がでた。同様に段ボールも古紙リサイクルとしての排出量を管理していく。

⑥環境関連法規の遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

⑦環境教育の推進

全社員にて環境活動を実施している。活動に関する担当をローテーションし、定例会議により各取組について全社員が理解して意識を共有することができた。

⑧ 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

製造用の純水について水質計測器を更新した。これにより、よりハイレベルな水質管理が可能になり安定した製品を提供することができる。

◎主に当社に関連する環境法令

《東昭化学株式会社関連》

法規	目的
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物の輸送・販売
高压ガス保安法	高压ガスの輸送・販売
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	品質、有効性、安全性を確保することなどにより保健衛生の向上を図る
家電リサイクル法	備品のリサイクル
廃棄物処理法	廃棄物の処理
労働安全衛生法	役職員の健康と安全確保、化学物質の取り扱い
化管法（PRTR法）	SDS（安全データシート）の交付

《株式会社カズサ関連》

法規	目的
消防法（県火災予防条例、危険物）	建物防災、危険物の保管管理、消防活動阻害物質管理
水質汚濁防止法	有害物質の排出、浸透防止、漏洩事故時の報告
浄化槽法	浄化槽の管理
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物の製造・保管管理、安全輸送
オゾン層保護法	オゾン層破壊物質の管理
フロン排出抑制法	フロンガスの適正管理
家電リサイクル法	備品のリサイクル
資源有効利用促進法	資源の有効利用の促進
千葉県環境保全条例	事業所の環境保全
食品衛生法	食品の安全性の確保
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	品質、有効性、安全性を確保することなどにより保健衛生の向上を図る
労働安全衛生法	役職員の健康と安全確保、化学物質の取り扱い
化管法（PRTR法）	SDS（安全データシート）の交付

5) 取組結果を踏まえた2024年度取組目標は

【東昭化学株式会社】

- ① 二酸化炭素排出量の低減
 - * 電力
冬季の空調、暖房機器の管理が課題となった。空調温度管理とサーキュレーターの活用で節電を推進する。
 - * ガソリン
公共交通機関とカーシェアリング利用を組合わせて営業効率とエネルギーの消費を抑制することを両立する。冬タイヤの交換を計画に合わせて実施して、不要な積載物を整理して燃費向上を目指す。
- ② 廃棄物排出量の低減
複合機の運用を見直して規格の統一と不要機器の整理をする。メンテ費用、消耗品の削減を目指す。
- ③ グリーン購入・リサイクルの推進
積極的にグリーン購入を推進。
紙類の分別を徹底して、リサイクルを推進。
- ④ 環境関連法規の遵守
化学物質を適正管理し、環境関連法規を遵守していく。
- ⑤ 環境教育の推進
全社員へ定期的にエコ活動における取組状況を通知する。
また、エコ委員による指導を行い、意識向上を目指す。
- ⑥ 電力使用量の低減
前年の各月の実績に基づき夏季、冬季の空調管理を軸に0.1%の削減を目標とする。

【株式会社カズサ】

- ① 購入電力の効率化
退出時の照明等の消し忘れを防ぐために確認チェックリストを活用して防止する。
試験室内で常時稼働している機器の発熱が原因で室内の温度が上昇し、エアコンの稼働が長時間必要だったが、機器の設置場所を変更して稼働時間の短縮をする。
- ② 燃費効率の向上（ガソリン使用量）
社用車、フォークリフトの運行については従業員の意識向上により効率的な結果がでていますが引き続き実績結果を共有して意識を継続する。
- ③ 廃棄物排出量の低減
敷地内の雑草処理方法を見直し、コンポストの利用検討など省力、低コストを検討する。
破損した廃棄パレットの処理方法を検討する。循環資源としての排出を目指す。
産廃排出物の処理費用削減のため回収コンテナに効率よく投入するため裁断など前処理の工夫をする。
- ④ 水使用量の削減
今年度収集したデータにより純水の製造に水温が大きく影響していることが分かった。
水温の管理をして効率の良い生産計画を立てて、節水と品質の向上を目指す。
- ⑤ グリーン購入・リサイクルの推進
分別を徹底して、廃ラップ、PPバンドの資源化回収を継続し、同様に段ボールも古紙リサイクルとしての排出量を管理していく。
ワクチンキャップの回収も進めていく。
- ⑥ 環境関連法規の遵守
化学物質の適正保管、漏洩防止管理の徹底。
- ⑦ 環境教育の推進
前年以上に細かいデータを記録し、担当以外の情報を共有することで、取り組みへの理解を深め、推進の意識を向上していく。
- ⑧ 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
原料、資材関係の大幅な値上げで生産コストが上昇する状況下において不良や破損でのロスをなくすために在庫管理と記録を徹底する。
製品出荷用のプラスチックパレットは強度の高い製品を選定し破損による廃棄を低減させる。
フォークリフトの更新について、より環境負荷の低い電気を動力とする製品を検討する。

6) 新5か年計画 (2026年9月までの環境経営目標)

【東昭化学株】

T-1 二酸化炭素排出総量の低減

2020年度の実績値(20,434kg-CO₂)を基準値とし
2026年9月までに二酸化炭素排出総量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 19,923 kg-CO₂

T-2 燃費効率

2020年度の実績値(15.43Km/l)を基準値とし
2026年9月までに営業車の燃費効率を2.5%向上させる。
2026年9月までの目標値 15.82Km/l

T-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(979.1Kg)を基準値とし
2026年9月までに廃棄物量を5%低減する。
2026年9月までの目標値 930.1kg

T-4 電力使用量の低減

2024年度の実績値(25,726kwh)を基準値とし
2026年9月までに使用量を0.1%低減する。
2026年9月までの目標値 25,700kwh

【株カズサ】

K-1 購入電力の効率化

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(33,847kwh)を基準値とし
2026年9月までに購入電力を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 33,001kwh

K-2 燃費効率の向上 (ガソリン使用量)

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(2,280l)を基準値とし
2026年9月までにガソリン使用量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 2,223l

K-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,816Kg)を基準値とし
2026年9月までに廃棄物量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 1,771Kg

K-4 水使用量の削減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,272m³)を基準値とし
2026年9月までに水使用量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 1,241m³

7) 代表者による全体評価と見直し

戦後80年の節目となる年でしたが、終わりが見えないロシア、ウクライナ紛争やイスラエルによるイラン各地への大規模攻撃でたくさんの命と財産が失われました。また、アメリカでのトランプ大統領の再選で各国へ関税を大幅に引き上げる政策が発動され、我が国でも大きな混乱を招きました。

円安による輸入品価格の上昇とエネルギー価格高騰による価格改定の動きは続き、プラント老朽化や市場の変化などで工場を閉鎖、製造、販売を終了する製品の発表も複数ありました。

激動する社会情勢や観測史上初が多発する気象変動で我々の営業活動にも大きな影響が出ています。

東昭化学株式会社と株式会社カズサは洞察力と素早い行動で変化に対応した提案をしております。



東昭化学(株)では昨年度まで燃費の向上が見られましたが、貨物車の稼働が増加したのと早い梅雨明けと9月までの猛暑による影響もあり、燃費効率は目標達成とはなりません。来期に向けて業務内容にあった営業車の選択や公共交通機関とカーシェアリングを利用するなどの工夫が必要です。

また、積載物の整理と冬タイヤの計画的な交換が低燃費に繋がると思います。

今年度より業務基幹システムの完全移行が完了して各部署において更にペーパーレス化が進んだ。保管帳票類のデータ化移行も進み、保管期限を過ぎた帳票類の廃棄量も減少している。今後はお取引様と協力のもと送付される不要な伝票類を整理分別して、送付を停止していただくなどの対応を積極的に行っていきます。

電気使用量の低減が環境経営目標に追加されました。

実績データより、夏季、冬季の空調管理が大きく数値に影響することがわかります。適切な温度管理と空気循環などの工夫をもって目標を達成すべく取り組みます。



(株)カズサでは購入電力量の増加が見られましたが、猛暑、酷暑日の増加と高温期間が長くなった事による影響が大きいと思います。

その中でサーキュレーターの併用での空調管理を実施して効果を出しています。また、熱を発生する機器を移動するなどの工夫で、出来得る対策を実践しています。

廃ラップ、PPバンドのリサイクル回収が定着し、発生する梱包材において製品容器の変更により、その段ボールが自社処分となり、古紙リサイクルとしての排出が増加した。また、破損したパレットについて循環資源としての排出を検討するとともに破損しにくい強度のある製品を選定する。

原料、資材関係ほか配送費などの価格上昇が度重なり、コスト管理に苦慮する状況ですが環境経営方針を念頭に置き製品を取扱い、使用していただく方の立場に立った製品の改良を検討しております。

【ワクチンキャップ運動への参加】

東昭化学(株)・(株)カズサは共同で、ワクチンキャップ運動を推進しております。社会貢献活動の一つとしてボトルのキャップを回収し、二酸化炭素の軽減と世界の子供たちのためのワクチン購入費を寄付する活動を支援しております。



〈ペットボトルキャップ回収結果〉

回収期間 (2024年10月1日~2025年9月30日)

回収日	重量 (Kg)	数量 (個)
2024/10/17	13.0 Kg	5,590 個
2025/5/9	7.6 Kg	3,268 個
合計	20.6 Kg	8,858 個